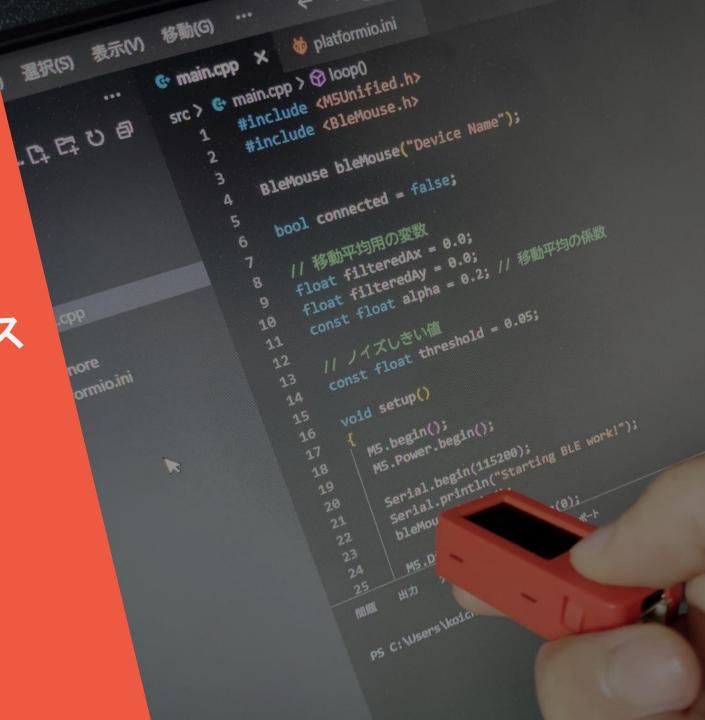
M5StickC Plusで作るBLEマウス

日付:2025/6/10

@塚田研 電子工作セミナー





M5StickC Plusを用いて、傾きで 操作可能なBluetoothマウスを作成する

M5StickC Plusについて



- ESP32-PICO-D4 チップ
- IR送信, RTC, マイク, LED,
 Bluetooth 4.0, 6軸IMU, ボタン,
 1.14インチLCD, ブザー

M5StickC Plusについて



- ESP32-PICO-D4 チップ
- IR送信, RTC, マイク, LED,
 Bluetooth 4.0, 6軸IMU, ボタン,
 1.14インチLCD, ブザー

ライブラリの準備

M5Unified

- 多くのデバイスで使える統合的なライブラリ

https://docs.m5stack.com/ja/arduino/m5unified/helloworld

- ライブラリが自動でデバイスを判別
- 他のM5マイコンでもコードを変えずに使える

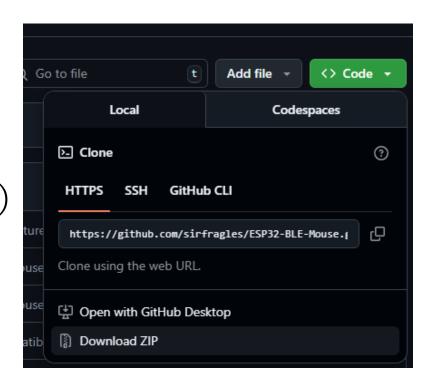


ライブラリの準備

ESP32-BLE-Mouse

- 簡単にBluetoothマウスが作れるライブラリ
- githubからzipでダウンロード (dev branch)

https://github.com/sirfragles/ESP32-BLE-Mouse/tree/dev



ライブラリの準備

ESP32-BLE-Mouse

スケッチ > ライブラリをインクルード > .zip形式のライブラリをインストール

ダウンロードしたESP32-BLE-Mouse-dev.zipを読み込む



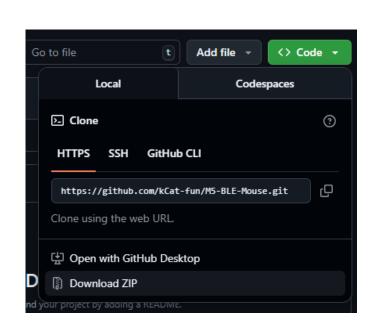
コードの準備

M5-ble-mouse をzipでダウンロード

- https://github.com/kCat-fun/M5-BLE-Mouse

M5-ble-mouse.inoを開く

- 5行目のDevice Nameを好きな名称に変更
 - ※ Bluetooth機器の名前になる
- 書き込みボタンを押す



```
#include <M5Unified.h>
#include <BleMouse.h>

// Device Nameを好きな名称に設定してください

BleMouse bleMouse("Device Name");
```

Bluetooth接続

Bluetoothの設定のデバイスを追加するから追加

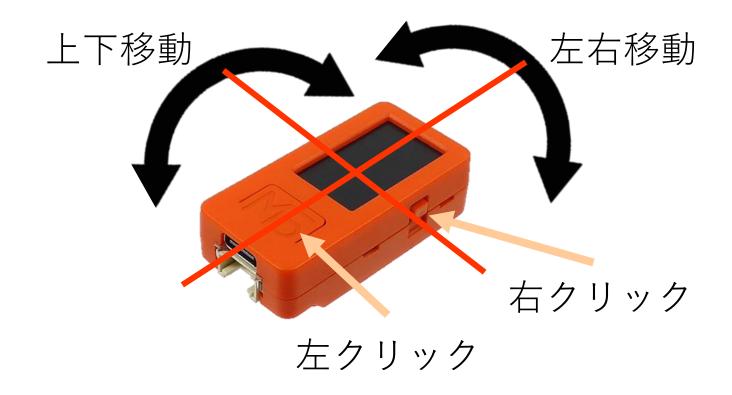
デバイス名は先ほど設定した名称になっている

接続が完了するとマウスとして機能する





操作方法



各メソッド・関数

bleMouse.begin():bleMouseの初期化

bleMouse.isConnected():接続確認

bleMouse.click(クリック):マウスクリック

左クリック: MOUSE_LEFT 右クリック: MOUSE_RIGHT

bleMouse.move(横の移動量, 縦の移動量, スクロール速度):マウス操作

フィルター

ローパスフィルタ

filteredAx = alpha * ax + (1 - alpha) * filteredAx;

… 少しずつセンサ値を取り入れ、値を滑らかにする手法

ノイズ除去

float dx = fabs(filteredAx) > threshold ? filteredAx : 0.0;

… しきい値以下の値(微細なノイズを)を除外し必要な値を選別する

さらにセンサの精度を上げるには

補完フィルタ

ジャイロセンサ、加速度センサの両方をいい感じに組み合わせて使う

ジャイロ:一瞬の動きには強いが、積分誤差が発生する

加速度:**安定している**が、**わずかな振動で誤動作**する

↓コード例

```
// ピッチ・ロール計算
float accPitch = atan2(accelY, accelZ) * 180 / M_PI;
float accRoll = atan2(-accelX, sqrt(accelY * accelY + accelZ * accelZ)) * 180 / M_PI;
pitch = ALPHA * (pitch + gyroX * elapsedTime) + (1 - ALPHA) * accPitch;
roll = ALPHA * (roll + gyroY * elapsedTime) + (1 - ALPHA) * accRoll;
```